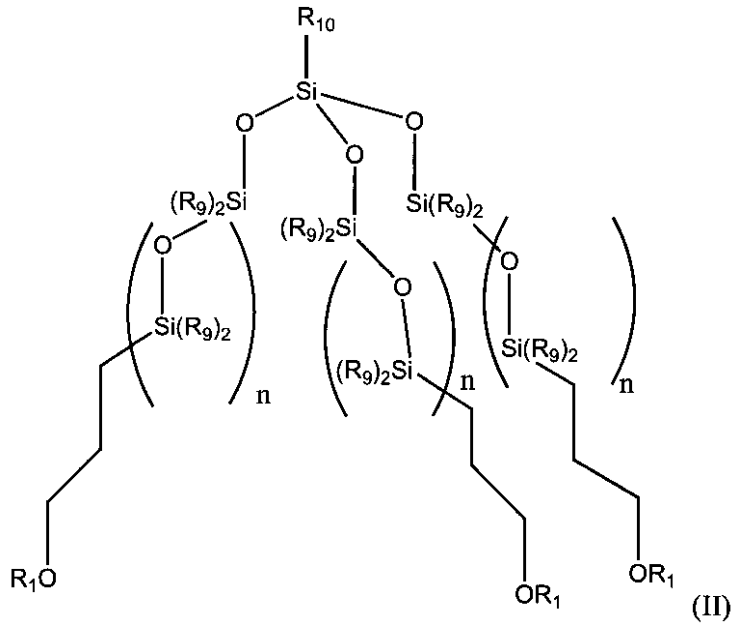
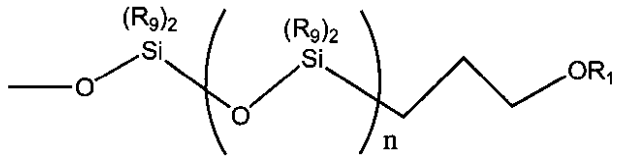
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成24年5月10日(2012.5.10)

【公表番号】特表2008-514314(P2008-514314A)
【公表日】平成20年5月8日(2008.5.8)
【年通号数】公開・登録公報2008-018
【出願番号】特願2007-533824(P2007-533824)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｌ　27/00　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　18/38　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　18/61　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｌ　27/00　Ｆ
Ａ６１Ｌ　27/00　Ｐ
Ａ６１Ｌ　27/00　Ｗ
Ｃ０８Ｇ　18/38
Ｃ０８Ｇ　18/61

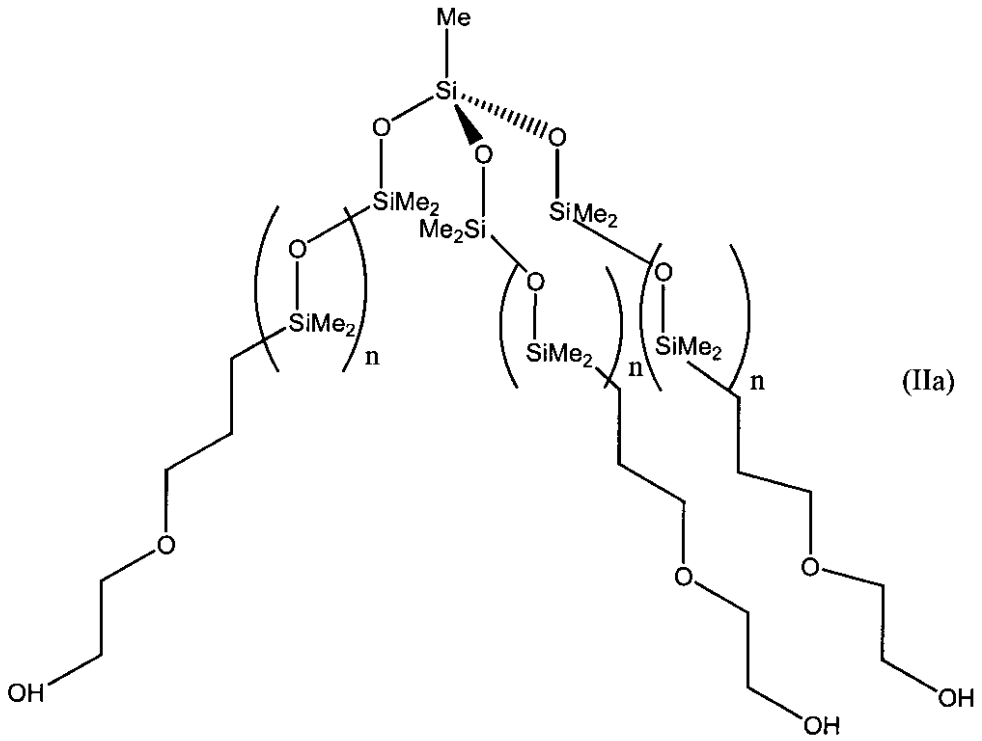
【誤訳訂正書】
【提出日】平成24年3月14日(2012.3.14)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
２．０５～３．５の範囲における平均官能性を伴う単量体を有する少なくとも１つのケイ素含有生体安定性重合体を含む化学ゲルであって、該生体安定性重合体が：
（ａ）　２以上の官能基を有する少なくとも１つのケイ素含有ポリオール又はポリアミンであって、構造式（ＩＩ）
【化１】



｛式中、
R_1は、ＯＨ又はＮＲ’Ｒ’’（ここでＲ’及びＲ’’はＨ、CO_2H及びC_{1-6}アルキルから独立して選択される）で任意に置換されているC_{1-6}アルキレンから選択されており；
R_9はC_{1-4}アルキルであり；
R_{10}は任意に置換されたC_{1-4}アルキル又は
【化２】

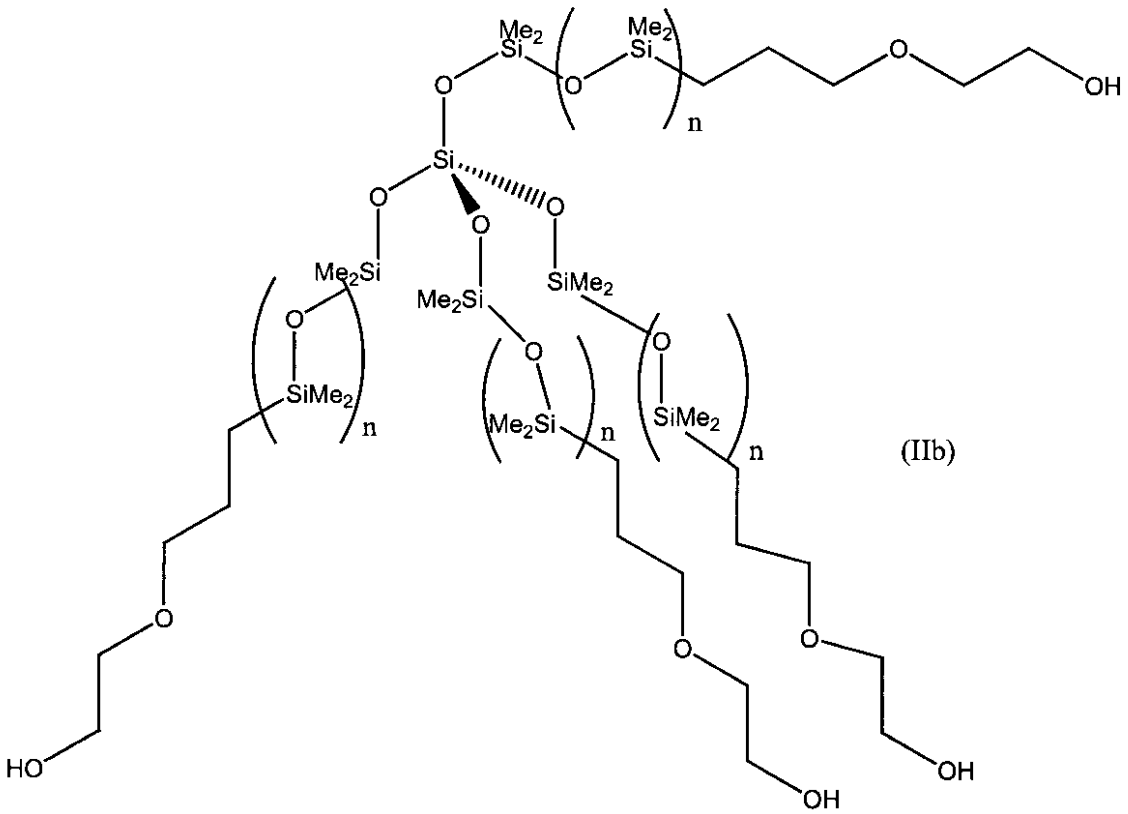


（ここでR_1及びR_9は上に定義した通りである）であり；
ｘは５～３０であり；
ｙは１～１０であり；そして
ｎは１～１０である｝の化合物である、ケイ素含有ポリオール又はポリアミン；
（ｂ） ポリイソシアナート；及び
（ｃ） ポリカルボナート又はＯＨもしくはＮＲ’Ｒ’’（ここでＲ’及びＲ’’は同じもの又は異なるものであり、かつＨ、CO_2H及びC_{1-6}アルキルから選択される）から選択される１以上の官能基を有するC_{1-6}アルカンから選択される少なくとも１つの非ケイ素含有化合物、
の反応生成物であるポリウレタン又はポリウレタン尿素である、化学ゲル。
【請求項２】
平均官能性が２．１～３．２５である、請求項１に記載のゲル。
【請求項３】
構造式（ＩＩ）の化合物が
【化３】



(IIa)

【化４】



といったものであり、式中ｎは請求項１で定義づけした通りである、請求項１に記載のゲル。

【請求項４】

構造式（ＩＩ）の化合物の分子量が１０００～５０００である、請求項３に記載のゲル。

【請求項５】

前記ポリイソシアナート（ｂ）が重合体４，４’－ジフェニルメタンジイソシアナート（ＭＤＩ）、メチレンビシクロヘキシルジイソシアナート（H_{12}ＭＤＩ）、ｐ－フェニレンジイソシアナート（ｐ－ＰＤＩ）、トランス－シクロヘキサン－１，４－ジイソシアナート（ＣＨＤＩ）、１，６－ジイソシアナトヘキサン（ＤＩＣＨ）、１，５－ジイソシアナトナフタレン（ＮＤＩ）、パラ－テトラメチルキシレンジイソシアナート（ｐ－ＴＭＸＤＩ）、メタ－テトラメチルキシレンジイソシアナート（ｍ－ＴＭＸＤＩ）、２，４－トルエンジイソシアナート（２，４－ＴＤＩ）異性体又はそれらの混合物或いはイソホロンジイソシアナート（ＩＰＤＩ）である、請求項１に記載のゲル。

【請求項６】

前記ポリカルボナートがポリ（アルキレンカルボナート）；又はアルキレンカルボナートとアルカンジオールを反応させることによって調製されるポリカルボナートである、請求項１に記載のゲル。

【請求項７】

１つ以上の官能基を有するC_{1-6}アルカンがメタンジオール、ブタンジオール又はヘキサンジオールである、請求項１に記載のゲル。

【請求項８】

１未満のＮＣＯ／ＯＨ又はNH_2比を有する、請求項１に記載のゲル。

【請求項９】

ＮＣＯ／ＯＨ又はNH_2比が０．４～０．７である、請求項８に記載のゲル。

【請求項１０】

３５％未満の抽出可能物を有する、請求項１に記載のゲル。
【請求項１１】
（ｉ） 構成要素（ａ）、（ｂ）及び（ｃ）（存在する場合）を混合する段階を含む、請求項１～１０のいずれか１項に記載のゲルの調製方法。
【請求項１２】
（ｉ） 末端反応性ポリイソシアナート基を有するプレポリマーを形成するべく構成要素（ａ）及び（ｂ）を反応させる段階；及び
（ｉｉ） 段階（ｉ）のプレポリマーと構成要素（ｃ）（存在する場合）を混合させる段階、
を含む、請求項１～１０のいずれか１項に記載のゲルの調製方法。
【請求項１３】
段階（ｉ）で、触媒、酸化防止剤、ラジカル阻害物質、安定剤、潤滑剤、染料、顔料、無機及び／又は有機充填剤、強化剤及び開始剤の中から選択された単数又は複数の添加剤が添加される、請求項１１又は１２に記載の方法。
【請求項１４】
（ｉ） 構成要素（ａ）及び（ｂ）及び（ｃ）（存在する場合）を光開始剤と混合する段階；及び
（ｉｉ） 段階（ｉ）の混合物をＵＶ放射線に付す段階を含む、請求項１～１０のいずれか１項に記載のゲルを調製するための方法。
【請求項１５】
請求項１～１０のいずれか１項に記載のゲルで全体的又は部分的に構成されている、生体材料、デバイス、用品又はインプラント。
【請求項１６】
軟組織インプラント；整形外科用関節又はその部品；骨縫合アンカー；再建的顔面手術；制御型薬物放出デバイス；鍵穴手術における構成要素；バイオセンサー；医療デバイス、輸液及び流量制御デバイスの挿入用工具及び付属備品；及び尿道、神経又は血管膨張性薬剤の中から選択された、請求項１５に記載の生体材料、デバイス、用品又はインプラント。
【請求項１７】
請求項１～１０のいずれか１項に記載のゲルで全体的に又は部分的に構成されている豊胸用インプラント。
【請求項１８】
請求項１～１０のいずれか１項に記載のゲルを含む医療用インプラント用の充填材料。
【請求項１９】
請求項１に記載の構造式（ＩＩ）の化合物。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００４５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００４５】
「ポリイソシアナート」という用語は、重合体４，４’－ジフェニルメタンジイソシアナート（ＭＤＩ）といったようなジ以上のイソシアナートを意味する。ポリイソシアナートは、好ましくは、脂肪族又は芳香族ジイソシアナート、例えばＭＤＩ、メチレンビシクロヘキシルジイソシアナート（H12ＭＤＩ）、ｐ－フェニレンジイソシアナート（ｐ－ＰＤＩ）、トランス－シクロヘキサン－１，４－ジイソシアナート（ＣＨＤＩ）、１，６－ジイソシアナトヘキサン（ＤＩＣＨ）、１，５－ジイソシアナトナフタレン（ＮＤＩ）、パラ－テトラメチルキシレンジイソシアナート（ｐ－ＴＭＸＤＩ）、メタ－テトラメチルキシレンジイソシアナート（ｍ－ＴＭＸＤＩ）、２，４－トルエンジイソシアナート（２，４－ＴＤＩ）異性体又はそれらの混合物或いはイソホロンジイソシアナート（ＩＰＤＩ

）であり得るジイソシアナートである。ＭＤＩが特に好ましい。